

5 概 況

下水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の処理区域内人口が 26,148 人で、行政区内の普及率（下水道普及率）は 50.4%となっている。また有収率は 78.9%で前年度比 12.1 ポイントの増となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している (P21～22)。

経営成績を見ると、当年度純利益は 112,550,748 円で前年度と比較して 3,555,113 円 (3.1%) の減となった。この主な要因は、下水道使用料の減や、資産減耗費や減価償却費の増による営業費用の増や、他会計補助金の増による営業外収益の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している (P23～25)。

当年度の財政状況を見ると、資産は有形固定資産の構築物等の増により、前年度と比較して 1,269,484,795 円 (5.3%) の増となっている。また、負債は企業債等の増により、前年度と比較して 1,091,088,047 円 (5.0%) の増となっており、資本は純利益の計上や他会計からの出資等により、前年度と比較して 178,396,748 円 (9.5%) の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している (P26～30)。

下水道使用料の収入状況を見ると、現年度分の収入率は 90.3%、繰越分の収入率は 92.6%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している (P31)。